

2015年3月15日 鬼が岳、王岳 F、O、2名

トイレがある西湖駐車場でも良かったが、周遊の為いやしの里根場（ねんば）の登山者用駐車場（じやりのところ）に置かせてもらう。7時に到着。週間天気予報ではあまり予報として良くなかったが、晴れの予報に変わって、登る気満々でめざす。根場（ねんば）の部落を通り東入川を渡り進んでいく。一番のりなのか他の登山客は見当たらない。ピンクテープをあてに進んでいく。道が大分荒れていて、切り株なんかにもピンクテープがついている。沢沿いにしばらく進んだ後斜面を登り、またトラバース気味に進む。道幅が以上に狭く、途中雪と凍っているところがあり、危険回避のためアイゼンをつけるが、これから先どこにもテープが見つからなくなってしまう。道はとても前には進めず考えた結果、地面はどこも凍っているがアイゼンをつけたまま右斜面を直登することとする。

次の2名パーティーも同じ道に来て、私たちの直登についてくる。その後も10人パーティーが・・・。

一步間違えると危険な箇所もあったがなんとかアイゼンの刃を立たせ、展望のきく場所まで着くことが出来た。鬼が岳は見えたがここまで苦労時間をかけて上がって来て、さらに藪の中に行くことと、ガスってきた場合の道迷いを警戒し、悩んだ結果ここで断念することとした。

帰りには、大分道もやわらかくなっていた。途中雪頭ヶ岳との分岐で、ピンクテープを信用してしまったため道を間違えてしまったことを知る。しばらくすると同じく私たちと同じ方向に入ってしまった10人パーティーと出会う。

私たちとは別の方向から登山道に出て、時間的に途中で戻ってきたとの事。分岐の標識が裏返っていて気づかなかったことと、正しい道に枝が直角にいくつか置いてあったことと、ピンクテープが直進方向にいくつもついていていたことから、迷いもせず直進してしまったことが原因。地図を良く見て分岐があることの予測と、ピンクテープに頼りすぎてもいけないことを反省した。帰宅し他の人の山行記録をwebでチェックすると、2、3同じところで迷ってしまった記録を見つけた。気を取り直して帰りに昼食をとり、いやしの里根場を見学し帰宅した。

5:30 茅野出発 7:00 いやしの里根場到着 7:15 出発 8:30 休憩 8:40 出発 10:00 最後のペナントとなる場所  
右斜面を直登 11:00 展望のきく場所から戻り 11:30 ペナント最後の場所から戻る 13:00 昼食-13:45 14:00 駐車場へ



道迷いの分岐の先（ピンクテープを頼りに直進してしまう）



標識の逆側から登ってきた（裏返っていた）



いやしの里根場



鬼が岳とFさん